

古代官衙・集落研究会 研究集会のご案内

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所では、下記のテーマ・日程で古代官衙・集落研究会の第15回研究集会をおこないます。関係各位のご参加をお待ちしております。また、お近くの関係者の方々にもお知らせいただけましたら幸いです。

テーマ：「四面廂建物を考える」

官衙の建物群の中でも、四面廂建物は最も格式が高いと考えられる重要遺構である。四面廂建物遺構の性格をどのように考えるかは、遺跡全体の理解と密接に関わる重要な観点である。一方、四面廂建物は集落内で検出されることもある。それを村落内寺院とみる見解など、その集落内での位置づけや、四面廂建物を伴う集落と伴わない集落の差など、興味深く重要な問題点が多く存在する。さらに、そもそもどのような検出状態であれば、四面廂建物と認識できるのか、という認定についての問題も存在するであろう。

そこで今回の研究集会では、四面廂建物の事例や建築の特徴、役割などを総合的に検討して、四面廂建物の認定、官衙や集落での意義、官衙と集落での様相の違いなどを考える材料としたい。

日程 2011年12月9日（金）・10日（土）

12月9日（金）		
13:05～13:15	開会挨拶	
13:15～14:15	建築からみた四面廂建物	箱崎和久（奈良文化財研究所）
14:15～15:15	都城とその周辺における四面廂建物の様相	家原圭太（京都市文化財保護課）
15:15～15:30	〈休憩〉	
15:30～16:30	東日本における四面廂建物の様相	江口桂（府中市ふるさと文化財課）
16:30～17:30	西日本における四面廂建物の様相	小澤太郎（久留米市教育委員会）
12月10日（土）		
9:30～10:15	文献からみた四面廂建物	有富純也（東京大学）
10:15～11:15	四面廂建物の意義	池田敏宏（(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター）
11:15～11:50	検出遺構における四面廂建物	青木敬（奈良文化財研究所）
11:50～12:00	事実関係確認・質問票記入	
12:00～13:00	〈昼食・休憩〉	
13:00～15:30	討論	司会：石橋茂登（奈良文化財研究所）
15:30～	閉会挨拶	

※報告題目は仮題ですので、変更する場合があります。

場所 奈良文化財研究所 平城宮跡資料館 講堂（地図参照）

